

臨床検体からのゼノグラフト株・培養細胞株の樹立

1. 研究の対象

2015年8月1日から2025年3月31日までに国立がん研究センター中央病院・東病院において診療を受けた肉腫、悪性脳腫瘍、神経内分泌腫瘍、眼科腫瘍、皮膚科腫瘍、頭頸部腫瘍、食道がん、消化管間質腫瘍、胃がん、胆管がん、膵がん、卵巣がん、子宮頸部がん、非ウイルス性肝がん、肺がん、乳がん、大腸がん等の患者さんから、(1)手術で切除した病気の部分の組織の残りなどの診療後の残余試料と、(2)病理診断や治療の内容などの病気に関する臨床情報、の2点を提供していただき、研究を行います。なお、包括的同意「検査試料、生検組織、摘出標本等の研究利用に関するお願い」に同意してくださった方のみを対象といたします。この他、医療法人社団愛語会要町病院・腹水治療センターの胃がんや卵巣がん等の患者さんの腹水検体を匿名化された状態で受け入れ、国立がん研究センターで分析します。

研究の実施場所は、国立研究開発法人国立がん研究センターおよび埼玉県立がんセンターです。

2. 研究目的・方法

がんについては、世界中で長い間、多くの研究者が懸命に研究を積み重ねていますが、まだ約半数のがんが完全には治せない状況です。これらの治せないがんに対する新しい治療法の開発には、正常あるいはがんの組織で生きている細胞が、既存の抗がん剤にどのように反応するのか、タンパク質や遺伝子は薬剤の処理によってどのように応答するのかなどのデータが必要になります。そのようなデータは、患者さんから摘出されても、細胞が死んでしまった検体からでは得られない場合もあります。生きた細胞のデータを得るためには、摘出、採取後、シャーレ中で増殖させた培養細胞株や、実験動物に移植して維持するゼノグラフト株を作成し、生きている細胞を創薬研究などに活用する必要があります。

肉腫、悪性脳腫瘍、神経内分泌腫瘍、眼科腫瘍、皮膚科腫瘍、頭頸部腫瘍、食道がん、消化管間質腫瘍、胃がん、胆管がん、膵がん、卵巣がん、子宮頸部がん、非ウイルス性肝がん、肺がん、乳がん、大腸がん等の患者さんから得られたがん組織や腹水から細胞株を作成し、遺伝子やタンパク質の網羅的な解析、抗がん剤に対する反応などを調べます。

まだわかっていないことが多いがんの原因・本態を分子レベルで明らかにすることは、新しい検査法・治療法の開発の基礎となるという重要な意義があります。

研究期間：

研究許可日～2026年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

(1) 手術で切除した病気の部分の組織の残りなどの診療後の残余試料と、(2) 病理診断や治療の内容などの病気に関する臨床情報、の2点を提供していただき、研究を行います。なお、包括的同意「検査試料、生検組織、摘出標本等の研究利用に関するお願い」に同意してくださった方のみを対象といたします。この他、医療法人社団愛語会要町病院・腹水治療センターの胃がんや卵巣がん等の患者さんの腹水検体を匿名化された状態で受け入れ、国立がん研究センターおよび埼玉県立がんセンターにて分析します。

4. 外部への試料・情報の提供

カルテ番号、病理検体番号以外の紙および電子ファイル情報ならびに検体は一見して個人が特定できないように匿名化された状態で解析を担当する共同研究者および業務委託先に提供します。NCC内でカルテ番号、病理検体番号を利用しますが、業務委託先には提供しません。

匿名化対応表は、当センターの個人情報管理者が保管・管理します。

5. 研究組織

埼玉県立がんセンター 元井紀子

国立がん研究センター

先端医療開発センター・センター長 落合淳志

研究所・基盤的臨床開発研究コアセンター

創薬標的・シーズ探索部門・研究員 佐々木博己

プロテオーム解析部門・部門長 近藤格

臨床ゲノム解析部門・部門長 市川仁

創薬標的・シーズ探索部門・部門長 竹下文隆

臨床ゲノム解析部門・研究員 坂本裕美

臨床ゲノム解析部門・研究員 吉田輝彦

プロテオーム解析部門・研究員 尾野雅哉

動物実験支援施設・施設長 今井俊夫

動物実験支援施設・ユニット長 高橋真美

動物実験施設・研究員 成瀬美衣

バイオインフォマティクス部門・部門長 加藤護

免疫創薬部門・部門長 青木一教

病理解析部門・部門長、

病院・病理科・医長 平岡伸介

病院・病理科・医長 関根茂樹

病院・病理科・医員 前島亜希子

病院・病理科・医員 森泰昌
病院・病理科・医員 吉田朗彦
病院・病理科・医員 吉田正行
病院・病理科・医員 渡邊麗子
病院・病理科・医長 元井紀子

国立がん研究センター研究所

所長 間野博行

脳腫瘍連携研究分野・分野長 市村幸一
ゲノム生物学研究分野・分野長 河野隆志
がん分化制御解析分野・分野長 岡本康司
がんゲノミクス研究分野・主任研究員 新井康仁
がん治療学研究分野・分野長 荻原秀明
細胞情報学分野・ユニット長 河津正人
細胞情報学分野・特任研究員 田中庸介
ゲノム解析基盤開発分野・分野長 白石友一

国立がん研究センター中央病院

院長 島田和明

胃外科・科長 吉川貴己
食道外科・科長 大幸宏幸
大腸外科・科長 金光幸秀
乳腺外科・科長 首籐昭彦
乳腺・腫瘍内科・医長 米盛勸
呼吸器外科・科長 渡邊俊一
呼吸器内科・科長 大江裕一郎
消化管内科・科長 朴成和
頭頸部外科・科長 吉本世一
肝胆膵外科・科長 江崎稔
肝胆膵内科・科長 奥坂拓志
肝胆膵内科・医長 森實千種
脳脊髄腫瘍科・科長 成田善孝
眼腫瘍科・科長 鈴木茂伸
皮膚腫瘍科・科長 山崎直也
婦人腫瘍科・科長 加藤友康
泌尿器・後腹膜腫瘍科・科長 藤元博行

泌尿器・後腹膜腫瘍科・医長 込山元清
内視鏡科・科長 齋藤豊
先端医療科・科長 山本昇
臨床検査科・科長・松下弘道

希少がんセンター

センター長 川井章（兼務 骨軟部腫瘍・リハビリテーション科・科長）

国立がん研究センター東病院

院長 大津敦

副院長、先端医療科・科長 土井俊彦

副院長、頭頸部外科 林隆一

病理・臨床検査科・科長 桑田健

病理・臨床検査科 坂下信悟

先端医療開発センター

トランスレーショナルインフォマティクス分野・分野長 土原一哉

HPV 関連がん予防・治療プロジェクト・プロジェクトリーダー 清野透

医療法人社団愛語会要町病院・腹水治療センター

センター長 松崎圭祐（役割：試料の提供者）

アステラス製薬株式会社・研究本部

バイサイエンス研究所長 廣田里香（共同研究、役割：解析（探索）者）

中外製薬株式会社・創薬企画推進部

グループマネジャー 安達秀樹（共同研究、役割：解析（探索）者）

中外製薬株式会社の子会社

未来創薬研究所（役割：解析（探索））

小野薬品工業株式会社・オンコロジー研究センター

センター長 吉田隆雄（共同研究、役割：解析（探索）者）

エーザイ株式会社・エーザイ・プロダクトクリエーション・システムズ

執行役 大和隆志（共同研究、役割：解析（探索）者）

エーザイ株式会社の子会社（役割：解析（探索））

株式会社サンプラネット

株式会社カン研究所

エーザイ・インク アンドーバー研究所

モルフォテック・インク

H3 バイオメディシン・インク

第一三共株式会社・バイオマーカー推進部長

村上雅人（共同研究、役割：解析（探索）者）

大日本住友製薬株式会社・がん創薬研究所

創薬第1グループマネージャー 古田雄大（共同研究、役割：解析（探索）者）

慶應義塾大学医学部 病理学教室

教授

金井弥栄（共同研究、役割：エピゲノム解析者）

国立成育医療研究センター・研究所・免疫アレルギー・感染研究部

部長

松本健治（共同研究、役割：マイクロアレイ解析者）

国立長寿医療研究センター・メディカルゲノムセンター

センター長

新飯田俊平（共同研究、役割：RNA シークエンス解

析者）

国立医薬品食品衛生研究所・医薬品安全科学部

室長

齋藤公亮（共同研究、役割：疎水性メタボローム解析者）

慶應義塾大学・先端生命科学研究所

特任講師

平山明由（共同研究、役割：親水性メタボローム解

析者）

昭和大学・臨床薬理研究所 臨床免疫腫瘍学講座部門

教授

吉村 清（共同研究、役割：免疫応答解析者）

理化学研究所・科技ハブ産連本部・創薬・医療技術基盤プログラム

マネージャー

三輪 昌敬 (共同研究、役割：化合物スクリーニング者)

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：

埼玉県立がんセンター 病理診断科 元井 紀子

郵便番号 362-0806 埼玉県北足立郡伊奈町小室780

電話 048-722-1111

研究代表者：

国立がん研究センター

先端医療開発センター・センター長 落合淳志 (研究代表)

免疫創薬部門・部門長 青木一教

郵便番号 104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

電話番号 03-3542-2511

-----以上